

外国語科学習指導案

府中市立第一中学校

- 1 日 時 令和元年9月26日(木) 13:50~14:40
- 2 学 年 第1学年1組33名(男子17名 女子16名)
- 3 単元名 Unit5 学校の文化祭
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、緑町中学校の文化祭での対話を通して、What's this~?やHow is~?等の特殊疑問文を用いて自分が知らないものを尋ねたり、形容詞の叙述用法を用いてもものの性質や状態などについて話したりすることをねらいとしている。また、世界の朝食が紹介されており、様々な国の食生活や食文化についての理解を深め、興味関心を高めるきっかけとなる単元であり、外国の食文化について理解すると共に、自国や地域の食文化の良さも改めて感じるきっかけとすることができる。

中学校学習指導要領(平成29年告示)解説外国語編「話すこと[やり取り]」の「イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。」に基づき、レシピを紹介する場面でのやり取りを通して、料理の味などの感想について相手に伝えたり、相手からの質問に答えたりして積極的に話す態度を育成することができる単元である。また、授業でも生徒にとって身近である食事を話題に取り上げることで、言語活動の幅を広げていくことができる単元でもある。

(2) 生徒観

今年度の4月に小学校の外国語活動についてアンケートを実施した。主な質問項目についての結果は以下の通りである。

質問項目	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
ゆっくりはっきりと話されれば、だいたい内容が聞き取れるようになった。	62%	38%	0%	0%
自分の考えや気持ちを伝えることができるようになった。	25%	62%	13%	0%
相手の言ったことにうなずいたり、一言感想を言ったりできるようになった。	40%	44%	16%	0%
簡単な英語を使って、質問したり答えたりできるようになった。	43%	44%	13%	0%
その場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことができるようになった。	28%	48%	20%	4%
相手の質問にさらに一言付け加えて答えることができるようになった。	21%	50%	25%	4%

会話が続くように知っている表現を使うようになった。	21%	48%	31%	0%
---------------------------	-----	-----	-----	----

アンケート結果から、「ゆっくりはっきりと話されれば、だいたい内容が聞き取れるようになった。」「相手の言ったことにうなずいたり一言感想を言ったりできるようになった。」という項目に関しては、80%以上の生徒が肯定的な回答をしており、小学校外国語活動で「聞くこと」「話すこと」の基礎的な技能は身に付いていると言える。また、「簡単な英語を使って、質問したり答えたりできるようになった。」という項目に関しては肯定的評価をした生徒は多いが、「相手の質問にさらに一言付け加えて答えることができるようになった。」「その場で質問したり質問に答えたりして伝え合うことができるようになった。」「会話が続くように知っている表現を使うようになった。」という項目に関しては肯定的評価をした生徒は少なく70%前後にとどまっている。このことから、小学校の外国語活動で簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことはできるが、会話を発展させたり即興で会話をしたりする技能は身に付いているとは言えない。

また、1学期に表現の能力のテストを行った。30秒間自己紹介をするテストでは、全員の生徒が7文以上の英文を言うことができた。しかし、自己紹介の内容についてその場でされた質問に答えるテストでは、さらに一言付け加えて答えた生徒が20%しかいなかった。また、ALTの自己紹介の内容についてその場で質問するテストでは、相手の内容に適切に質問したり、相手からの質問にさらに情報を加えて答えたりすることができた生徒が25%しかいなかった。この結果からも、相づちをしたり一言感想を言ったりしながら会話をすることはできるが、相手の質問にさらに一言付け加えて答えたり、その場で質問したり質問に答えたりして会話を継続したり発展させたり技能は十分に身に付いているとは言えない。

(3) 指導観

まず、生徒の生活実態にあった府中市の取組に関連付けた食材を使ったレシピを紹介するというパフォーマンス課題を設定することで、「話すこと[やり取り]」がより継続するような場面設定をする。府中市では毎年、『道の駅びんご府中レストラン』でおすすめしたいレシピを児童・生徒が考え応募するという取組が行われている。受賞したレシピは商品となって道の駅で販売されたり、メニューとなってレストランで提供されたりする。家庭科の宿題として、夏休みに作成したレシピを外国語科で取り扱うことで、教科横断型の単元となるように仕組む。オリジナルレシピについてのやり取りを通して、府中市の食文化の良さに改めて気づききっかけになるようにしたい。そのために、教科書を活用し世界の料理や食べ方の特徴を学習し、外国の食文化を知る単元導入にする。世界から地域にクローズアップさせるグローバルな「社会に開かれた教育」を展開する。

「話すこと[やり取り]」については、第一中学校のCAN-DOリストの学習到達目標である「自分の知らないことやものについて、簡単な語句や文を用いて伝え合いながら、4往復程度の対話で話すことができる。」を達成するために、生徒に会話を継続・発展するためのポイント（「中学校学習指導要領解説外国語編 p61」「小学校外国語活動・外国語研修ガイドブック p84」）を意識させながら、相手からの質問に対しその場で適切に応答したり、さらに情報を加えて答えたりして互いに会話を継続する活動をさせる。また、ペアを変えたり既習表現を活用して会話をする場面設定をしたりして即興で会話する活動をさせる。

5 単元の目標

- ・レシピについて、積極的に伝えたり、相手からの質問に答えたりして、対話を続けようとしている。
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- ・料理の味などの感想について相手に伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。
(外国語表現の能力)
- ・疑問詞で始まる疑問文の意味・用法に関する知識を身に付けている。(言語や文化についての知識・理解)

6 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
ある話題について、積極的に伝えたり、相手からの質問に答えたりして、対話を続けようとしている。	ある話題について相手に伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができる。		疑問詞で始まる疑問文の意味・用法に関する知識を身に付けている。

7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、料理の味などの感想について伝えたり、相手からの質問に答えたりして、4往復程度のやり取りができる。
目指す発話例	<p>A: Hello.</p> <p>B: Hello. <u>This is my recipe.</u> <u>It's "Omu-miso-rice".</u> (オリジナル料理名：オム味噌ライス, みそへス・ミンチカツ, 諸田のごぼう味噌スープ)</p> <p>A: What do you have?</p> <p>B: <u>I have eggs and rice.</u> Do you like eggs?</p> <p>A: Yes, I do. What's this?</p> <p>B: <u>It's miso.</u> <u>Fuchu is famous for miso.</u> Do you know miso?</p> <p>A: Yes, I do. How is the taste?</p> <p>B: <u>It's rich miso taste [sweet / sour / spicy / hot].</u> <u>It's good with soup.</u></p> <p>A: OK. I'll try it.</p> <p>B: Thank you.</p>

8 小学校外国語を踏まえた指導の工夫

(1) 関連する単元及び言語材料

Let's Try!1	Let's Try! → We Can!	We Can!1	We Can!→中学校	中学校
Unit8 What's this?	be 動詞→一般動詞	Unit3 What do you have on Monday?	言語の使用場面 学習→食事	Unit5 What do you have for breakfast?

(2) 言語活動「自分に関する簡単な質問に対してその場で答えたり、相手に関する簡単な質問をその場でしたりして、短い会話をする活動」を踏まえた指導をする。((3) 言語活動及び言語の働きに関する事項 ウ 「話すこと[やりとり]」(ウ))

(3) 会話を継続・発展するためのポイントを活用する。

- ①対話の開始 ②繰り返し ③一言感想 ④確かめ ⑤さらに質問 ⑥対話の終了

(例) ②miso, carrots, onion and burdocks…

③It's healthy. You eat a lot of vegetables.

④burdocks?

⑤How about onions?

(4) 他教科等で学習したことを活用したり、学校行事で扱う内容と関連付けたりする。

総合的な学習の時間 小学校
府中を知る
府中の特産物について知る

家庭科 第1学年
献立作りと食品の選択
レシピを作成及び調理実習

外国語 第1学年
Unit 5 学校の文化祭
府中の地産物・特産物を生かしたメニュー（商品）を道の駅に訪問する様々な地域や国の人に発信

9 単元計画

時	目標 (◆)・主なやり取り等	評価規準・評価方法
1	◆What's this? It's~.等の小学校での学習事項を音声で理解する。	エ 観察 振り返りカード
2	◆疑問詞 What で始まる疑問文の意味・用法を理解し、知らないことについて質問したり答えたりする。 A: What's this? B: It's "Omu-miso-rice". A: What's this? B: It's miso.	エ 観察 ワークシート
3	◆ お互いのレシピについて知らないことを質問したり答えたりして対話を続けようとしている。 A: What's this? B: It's "Omu-miso-rice". A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso.	ア 観察 振り返りカード

4	<p>◆疑問詞 How で始まる疑問文の意味・用法を理解し、ものの性質や状態などについて話す。</p> <p>A: What's this? B: It's "<i>Omu-miso-rice</i>". A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso. A: How's the <i>taste</i>? B: It's rich miso taste. A: That's good.</p>	エ 観察 ワークシート
5	<p>◆お互いの料理の味などについて質問したり自分の感想を伝えたりして会話を続けようとしている。</p> <p>A: What's this? B: It's "<i>Omu-miso-rice</i>". A: What's this? / Is it sauce? B: It's miso. / No, it's not. It's miso. Fuchu is famous for miso. A: How's the <i>taste</i>? B: It's rich miso taste. A: That's good.</p>	ア 観察 振り返りカード
6	<p>◆疑問詞 What で始まる疑問文の一般動詞の場合の意味・用法を理解し、朝食に何を食べるかを尋ねたり答えたりする。</p> <p>A: What do you have for breakfast? B: I have rice and miso soup. How about you? A: I have ~ and ~. I also have ~ and ~. B: I see.</p>	エ 観察 ワークシート
7 本時	<p>◆道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、相手からの質問に答えたりして、積極的に対話を続けようとしている。</p> <p>A: Hello. B: Hello. <u>This is my recipe.</u> <u>It's "<i>Omu-miso-rice</i>".</u> (オリジナル料理名: オム味噌ライス, みそ〜ス・ミンチカツ, 諸田のごぼう味噌スープ) A: What do you have? B: <u>I have eggs and rice.</u> Do you like eggs? A: Yes, I do. What's this? B: <u>It's miso.</u> Do you know miso? A: Yes, I do. How is the taste? B: <u>It's rich miso taste [sweet / sour / spicy / hot].</u> A: OK. I'll try it. B: Thank you.</p>	ア 観察 振り返りカード イ 後日パフォーマンステスト

8	◆パフォーマンステストを行う。	イ パフォーマンステスト
---	-----------------	--------------

10 本時の学習

(1) 本時の目標

道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、相手からの質問に答えたりして、積極的に対話を続けようとする。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の評価基準

オリジナルレシピを紹介し、相手からの質問に答えたりして、積極的に対話を続けようとしている。

(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

11 本時の学習展開

	学習活動	JET の活動	ALT の活動	・指導上の留意事項 ◎評価規準【評価方法】
挨拶	1 挨拶をする。	・挨拶をする。		
導入	2 Small Talk 好きな秋の食べ物について即興で会話をする。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①S-S Interaction 1</p> <p>A: What food do you like in fall?</p> <p>B: I like sweet potatoes.</p> <p>A: Oh, potatoes.</p> <p>B: I like chestnuts.</p> <p>A: Why?</p> <p>B: It's sweet and カリカリする.</p> <p>②Sharing</p> <p>T: Do you have any questions?</p> <p>S: それ(くり)はカリカリする</p> <p>T: どう言えばいいかな(全体に問いかける)</p> <p>T: OK. It's crispy.</p> <p>③S-S Interaction 2</p> <p>A: What food do you like in fall?</p> <p>B: I like sweet potatoes.</p> <p>A: Oh, potatoes.</p> <p>B: I like chestnuts.</p> <p>A: Why?</p> <p>B: It's sweet and crispy.</p> </div>		・わからなかった表現を全体で共有することで、会話を発展させる。

	<p>3 本時のめあての確認 をする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、相手からの質問に答えたりして、積極的に対話を続けよう。</p> </div>	
<p>展 開</p>	<p>4 Activity</p> <p>①レシピを紹介するために、本文 part3 の有効な英語表現を確認する。</p> <p>②ペアでレシピの食材などについての会話のやり取りをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>場面① お互いにオリジナルレシピを紹介しよう。</p> </div> <p>③他にどのような英語表現が使えるか考える。</p> <p>④ペアでレシピの食材などについての会話のやり</p>	<p>・本文の英語表現で活用できるものを考える。</p> <p>○Really?</p> <p>○You have a lot.</p> <p>○What do you have?</p> <p>○I have ~. I also have~.</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>レシピ紹介の場面に活用</p> <p>・机間指導をし、会話に行き詰っている生徒に支援する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>A: Hello.</p> <p>B: Hello.</p> <p style="padding-left: 40px;">This is my recipe.</p> <p style="padding-left: 40px;">It's (料理名) .</p> <p>A: What do you have?</p> <p>B: I have a carrot.</p> </div> <p>・レシピを紹介する会話を継続・発展させるために、他にどのような英語表現が使えるか考えるように指示を出す。</p> <p>(質問に答える)</p> <p>○What do you have?</p> <p>→I have a carrot.</p> <p>(さらに一言付け加える)</p> <p>○I have a carrot.</p> <p>→It's delicious.</p> <p>(さらに質問する)</p> <p>○I have a carrot.</p> <p>→Do you like carrots?</p> <p>・机間指導をし、会話に行き詰っている生徒に支</p>	<p>・既習表現を少し変えるだけで、会話に多様性が生まれることを確認させる。</p> <p>・レシピカードは会話の即興性を出すために、簡単な語や絵のみで書かせる。</p> <p>・単語や英語表現のリストを作成せず、会話の中で必要なときに導入するなど、使用場面や目的を意識した指導をする。</p> <p>・既習表現を使って会話を考えさせる。</p> <p>・様々な英語表現を自由に出させる。</p> <p>◎ア【観察 振り返りカード】</p>

取りを再度する。

援する。

に支援する。

A: Hello.
 B: Hello.
 This is my recipe.
 It's (料理名) .
 A: What do you have?
 B: I have a carrot. (質問に答える)
It's delicious. (さらに一言付け加える)
Do you like carrots? (さらに質問する)

⑤実際に道の駅で外国人に出会った想定で、ALTに府中の特産物を使ったオリジナルレシピを紹介する。

場面②
 道の駅レストランで、外国の人にオリジナルレシピを紹介しよう。
 A: ALT
 B: 生徒

・生徒と会話のやり取りをする。

・ALTにオリジナルレシピを紹介させる。

⑥実際に道の駅で外国人に出会った想定で、先生方に府中の特産物を使ったオリジナルレシピを紹介する。

場面②
 道の駅レストランで、外国の人にオリジナルレシピを紹介しよう。
 A: 先生方
 B: 生徒

A: Hello.
 B: Hello. This is my recipe.
It's "Omu-miso-rice".
 (オリジナル料理名：オム味噌ライス、みそ〜ス・ミンチカツ、諸田のごぼう味噌スープ)
 A: What do you have?
 B: I have eggs and rice.
 Do you like eggs?
 A: Yes, I do. What's this?
 B: It's miso.
 Do you know miso?
 A: Yes, I do. How is the taste?
 B: It's rich miso taste [sweet / sour / spicy / hot].
 A: OK. I'll try it.
 B: Thank you.

まとめ	5 振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・一言付け加えた時に、相手からそのことについて質問が返ってきて会話を長く続けることができた。 ・間違っても相手からの質問に答え続けることで、相手にオリジナルレシピを詳しく伝えることができた。 	
挨拶	・挨拶をする。	・挨拶をする。	・挨拶をする。

12 板書計画

Unit 5 学校の文化祭

Aim: 道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、
 (相手からの質問に答えて、さらに一言付け加えて、さらに質問して)
 積極的に対話を続けよう。

- 1 Small Talk (好きな秋の食べ物)
- 2 レシピ紹介
- 3 振り返り

レシピ紹介

Part 1

Part 2

Part 3

13 パフォーマンステスト

道の駅レストランで外国の人にオリジナルレシピを紹介するために、料理の味などの感想について伝えたり、相手からの質問に答えたりして、4往復程度のやり取りができる。

	A (十分満足)	B (おおむね満足)	C (努力を要する)
評価基準	○オリジナルレシピについて紹介し、4往復程度のやり取りをすることができる。 ○相手からの質問にさらに情報を加えて答えたりすることができる。	○オリジナルレシピについて紹介し、4往復程度のやり取りをすることができる。 ○相手からの質問に答えたりすることができる。	○オリジナルレシピについて、4往復程度のやり取りをすることができない。 ○相手からの質問に答えたりすることができない。
実際の生徒の姿	A: Hello. B: Hello. <u>This is my recipe.</u> <u>It's "Omu-miso-rice".</u> (オリジナル料理名: オム味噌ライス, みそ〜ス・ミンチカツ, 諸田のごぼう味噌スープ) A: What do you have? B: <u>I have eggs and rice.</u> Do you like eggs? A: Yes, I do. What's this? B: <u>It's miso.</u> <u>Fuchu is famous for miso.</u> Do you know miso? A: Yes, I do. How is the taste? B: <u>It's rich miso taste [sweet / sour / spicy / hot].</u> <u>It's good with soup.</u> A: OK. I'll try it. B: Thank you.	A: Hello. B: Hello. <u>This is my recipe.</u> <u>It's "Omu-miso-rice".</u> (オリジナル料理名: オム味噌ライス, みそ〜ス・ミンチカツ, 諸田のごぼう味噌スープ) A: What do you have? B: <u>I have eggs and rice.</u> Do you like eggs? A: Yes, I do. What's this? B: <u>It's miso.</u> Do you know miso? A: Yes, I do. How is the taste? B: <u>It's rich miso taste [sweet / sour / spicy / hot].</u> A: OK. I'll try it. B: Thank you.	A: Hello. B: Hello. <u>This is my recipe.</u> <u>It's "Omu-miso-rice".</u> (オリジナル料理名: オム味噌ライス, みそ〜ス・ミンチカツ, 諸田のごぼう味噌スープ) A: What do you have? B: ... A: OK. What's this? B: <u>Miso.</u> A: How's the taste? B: ...